

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

出資金を活用

MRIを新装置へとバージョンアップしました



2009年から組合員の皆様に愛され続け使用していましたMRI(核磁気共鳴装置)が役目を終え、新装置へとバージョンアップしました。

既存装置のハードウェアを一新し、様々なアプリケーションが搭載されます。

新装置は、患者様の体型、年齢、呼吸状態などの個人の違いや特性を考慮し、安定して高画質な画像を撮影できる先進技術を搭載しています。この技術により撮影時間の延長を抑え、小児や高齢者などMRI撮音が苦手な方でも静音化を実現するなど検査しやすくなりました。

2026年5月25日(月曜日)始動です！

放射線室 根間 佳子

沖縄協同病院デジタル化シリーズ①

デジタルサイネージ(電子掲示板)



当院では、2026年6月より院内情報発信の充実を目的として、デジタルサイネージ(電子掲示板)を導入いたします。設置場所は会計待合室、外来待合室です。

これまで紙媒体を中心に掲示していた診療案内や各種お知らせを電子表示化することで、より見やすく、分かりやすく情報提供を行ってまいります。診療案内をはじめ、健康情報や感染対策、各種ワクチン・予防接種の案内などを適時配信し、患者さまに必要な情報を迅速にお届けできる環境整備を進めております。

近年、医療現場ではAI技術をはじめとするデジタル化が進んでいます。当院においても、こうした技術を活用しながら、患者サービスの向上と、安心して受診いただける環境づくりに取り組んでまいります。

今後も地域の皆さまに寄り添い、分かりやすく親しみやすい情報発信を行い、新しい技術も上手に取り入れ、安心して利用できる沖縄協同病院を目指してまいります。

内科外来 師長 新垣 亮樹

病院の活動状況 <2026年4月度>

- ・外来一日平均患者数：221人 (前年同月比 -35人)
- ・入院一日平均患者数：220人 (前年同月比 -33人)
- ・組合員利用分量(率)：60.4% (前年同月比 +3.5%)

消化器疾患 早期発見の重要性

ひびき

232 消化器内科より



当院内科、消化器内科として診療をしております小川と申します。皆様の御理解・御協力のもと、医療活動が行えていることに感謝申し上げます。主に消化器内科の紹介とがん検診の重要性の2点をお伝えしたいと思います。はじめに当院消化器内科の紹介ですが、胃カメラ・大腸カメラなどの上部・下部消化管の内視鏡をメインに、肝機能障害や胆道・脾疾患の検査・治療まで、幅広く治療・検査を行っております。また、内科的な治療後に外科的治療を要する患者様も多く、外科チームとも協力しながら日々の診療を行っております。ことも特徴の一つだと思っております。何らかの治療歴がある方であれば、ご経験があるかと思いますが、食事の消化吸収に関する臓器の治療を行うため、どうしても絶食となる期間が他科より長いのも特徴の一つです。しかし治療のためと御理解いただけますと幸いです。診療を通して日々感じていることがあります。それは内視鏡検査やエコー検査などの検査を定期的に受ける事の重要性です。消化器内科として診療を行っているのと、「がん」という診断を患者様に説明する機会が多いのが事実です。皆様は、一年間のうちのうちのくらくらの方がんと診断されるかご存じでしょうか？国立がん研究センターの発表では、2023年では年間約10万人の方が新規にがんと診断されたと発表されています。また、一生のうち男性は約60%、女性は約50%の確率でがんと診断されるとも発表されています。この数字を聞くと、とても自分にはかからないから大丈夫とはいえないのではないのでしょうか。2023年の臓器別の罹患率では、大腸癌、胃癌が一位と二位を占めています。これら二つのがんに関しては、早期発見ができれば内視鏡の治療が可能なることもあります。内視鏡検査をする際に、この早期癌を見逃さない様に検査を行っておりますが、中にはかなり進行した状態での発見となり、治療自体ができない事があるというのも事実です。一部のがんを除き、定期的に検査を受けていけば、治療可能な段階で発見できると僕は感じています。

組合員の皆様はいつでも内視鏡検査をはじめ、エコー検査など様々な検査をうけていただく事が可能です。内視鏡検査やエコー検査はやったことない、最後にしたのは何年も前になるといっ方がいっぱいしゃれば、是非主治医にご相談をしてみてください。外来や内視鏡室で、いつでもお待ちしております。

消化器内科 小川 陽

食中毒にご注意



皆さんは食中毒予防の3原則をご存じでしょうか。
食中毒を予防するには、細菌を「つけない」「増やさない」「やっつける」の3つがポイントとなります。ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅するため、適切な対策を行うことが大切です。今回はその中でも「やっつける(加熱)」についてお話ししたいと思います。

先月、県内の飲食店で「O-26」による食中毒が発生し、5店舗が営業停止となったニュースが報道されました。よく耳にする「O-157」や「O-26」などの腸管出血性大腸菌は生肉や加熱不十分な肉類を食べることで発症しますが、75℃ 1分以上の加熱をすることで死滅させることができます。

他にも、かつお・いか・さばなどの魚介類の内臓にはアニサキスが寄生していることがあります。その幼虫を摂取すると、みぞおちの強い痛みや悪心・嘔吐、数日後には激しい下腹部痛などの症状が現れます。アニサキスは60℃ 1分以上の加熱で死滅することができます。

今年も暑い夏がやってきます。1年を通じて高温多湿な沖縄では季節を問わず食中毒の発生予防に努めることが大切です。

栄養管理室 管理栄養士 松島 文子

はいさい6月号アンケート



今月よりははいさいアンケートを始めました。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

こんにちは赤ちゃん

当院で出生したBabyの写真です



喜屋武かなさちゃん



大田心々菜ちゃん

Instagramやってます @okikyo.sanka



私の部署のいいところ

当院救急センターのおもしろ職員です。大阪出身の関西弁でおます。

沖協ERの本年度の目標は救急車5000台を目標に日々奮闘中です。

イケメン医師とギャル看護師が沢山いますよー!!

沖協ERでは年に数回各消防(那覇消防、豊見城消防、東部消防)との訓練や、多数傷病者の訓練、院内災害訓練をしています。小児から成人まで幅広い患者の対応を学んでいます。またイケメンマッチョの救命士とも関わる機会が多いので興味のある方はERに来てみてくださいね♥



救急センター

看護師 勝村 明夫



認定(特定)看護師紹介② 緩和ケア認定看護師



緩和ケア認定看護師として、病気を抱えた時から治療中、療養生活、人生の最終段階まで、患者さんやご家族が「その人らしく」過ごせるよう支援しています。

緩和ケアは終末期だけのものと思われがちですが、がんだけでなく心不全や呼吸器疾患など、さまざまな病気による痛みや息苦しさ、つらさや生活上の困りごと、不安などを和らげながら、その人の価値観を大事にその人らしい生活を支える大切なケアです。

私は身体的な苦痛だけでなく、気持ちの揺れやご家族の悩みにも寄り添うことを大切に、その人らしい医療・ケアが提供できるように活動しております。

組合員さん向け啓発活動として名護支部にて、「あなたの大切にしたいこと考えてみませんか」、「もしバナカード」を用いた「人生会議」の講演会を開催しました。もしもの時のために、自分や大切な人が受けたい医療やケアについて、話し合い、考えを書き留めてみませんか。

緩和ケア認定看護師 山城 美香

戦車から村びとを守った凄いシーサー

豊見城市・田頭の村シーサー

豊見城市田頭の市道沿いにたたずむシーサー。二カッと歯をむき出しにして、とても素朴な味のある顔をしている。実はこの『田頭の村シーサー』はとてつもなく大した守り神なのだ。



田頭のシーサーは、笑っているように見える

昭和20年の沖縄戦、日本軍は劣勢で遂に豊見城まで米軍が迫ってきた。田頭の村びとは怯えながら、集落後方の森へ逃げ込み、息をひそめ隠れていた。だが、そこへ米軍の戦車が向かってきたのである。

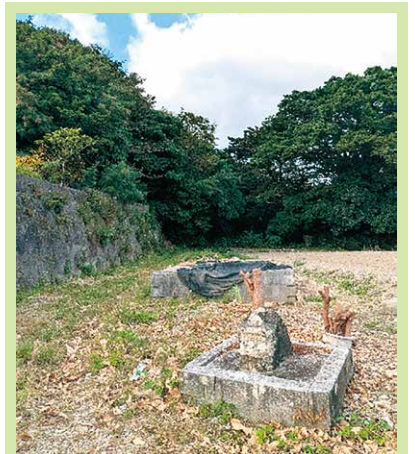
米軍は日本兵が潜んでいるかもしれない洞窟や森を戦車の火炎放射で焼き払う。村びとたちも万事休すとあきらめ、死を覚悟していたその時、なにかが起こった。



田頭集落の西のはずれで、300年も前からしっかりと村を守っているシーサー

まっすぐ森へ向かってきた戦車の動きがおかしい。森の入口付近で、前へ行ったり後ろへバックしたりと、なかなか進めない。何度も車体を切り返したあと、とうとうあきらめて戦車をバックさせるとその場を去っていった。村びとたちは、火炎放射で焼かれることもなく、助かったのである。

不思議に思った村の人たちが戦車がいたところをそーっとのぞくと、いつものようにたたずむ村シーサーがいた。米軍の戦車はシーサーに乗り上げて立ち往生していたのだ。いや、シーサーが身を挺して皆を守ったのだ。



村びとが隠れた森にも神が宿るという

田頭のシーサーは、集落の中のもう1匹の相棒シーサーと共に、西の数珠山から来る「魔風」(マジムンの風)から村を守るために置かれた。米軍からも村を守ったシーサーは、今も田頭の人々に大切にされている。

さんぽ人 宮城 じゅん